

景況調査

(平成30年4月～平成30年6月期)

平成30年4月～6月期の山企業景況調査の結果は、次の通りである。調査結果はDI指数(景気動向指数)を用いて示している。

平成30年4月～6月期の調査結果では、業況、売上高、採算、資金繰りの4指標の数値が低下した。

〈業況〉

業況DIは▲11.9で前回調査の3.3から15.2ポイント低下した。業種別では、小売業▲12.5(前回調査比▲12.5)、製造業▲9.1(前回調査比▲17.4)、建設業▲20.0(前回調査比▲30.0)、サービス業▲23.5(前回調査比▲23.5)、卸売業40.0(前回調査比+40.0)と卸売業を除いてその他の業種で低下した。

7月～9月期見通しは全体で▲8.6であり、わずかに数値は上昇している。

〈売上高〉

売上高DIは5.1で前回調査より17.9ポイント低下した。業種別では、小売業▲6.3(前回調査比▲35.7)、製造業18.2(前回調査比▲6.8)、建設業10.0(前回調査比▲10.0)、サービス業▲5.9(前回調査比▲17.7)、卸売業40.0(前回調査比±0.0)であり、卸売業以外の4業種で低下した。

7月～9月期見通しは全体▲8.6となっており、低下の見込である。

〈採算(経常利益)〉

採算(経常利益)DIは▲12.1で前回調査より12.1ポイント低下した。業種別では、小売業▲12.5(前回調査比▲18.4)、製造業0.0(前回調査比+8.3)、建設業▲40.0(前回調査比▲50.0)、サービス業▲11.8(前回調査比±0.0)、卸売業20.0(前回調査比±0.0)で製造業が上

昇し、サービス業、卸売業が横ばい、小売業、建設業は低下であった。

7月～9月期見通しは全体で▲13.8であり低下の見通しである。

〈資金繰り〉

資金繰りDIは▲8.9で前回調査から10.7ポイント低下した。業種別では小売業▲12.5(前回調査比▲6.2)、製造業0.0(前回調査比±0.0)、建設業▲33.3(前回調査比▲53.3)、サービス業▲6.3(前回調査比▲6.3)、卸売業20.0(前回調査比+20.0)であった。

7月～9月期見通しは全体で▲7.4であり、今回調査実績から上昇している。

